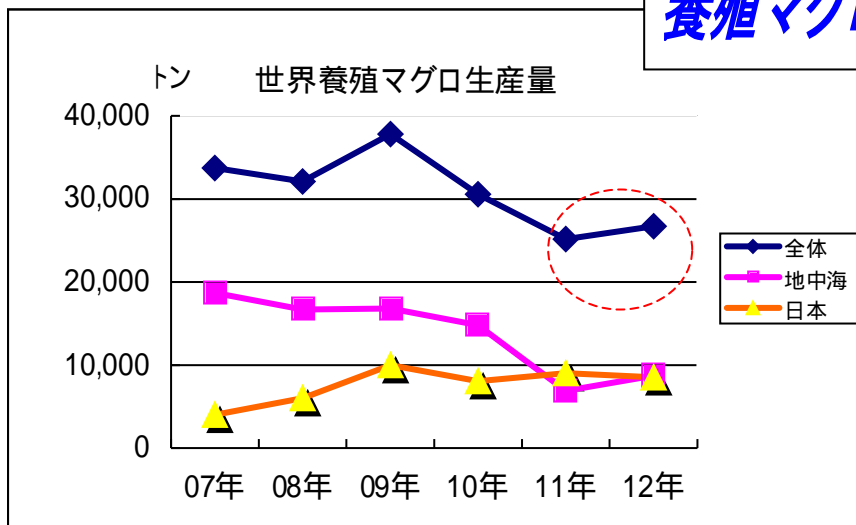


養殖マグロの生産量増へ



昨年度は 25,000 トンだった養殖マグロの生産量が今年は前年比 1 割増の 26,700 トンになる見通しだそうです。生産量の増加は 3 年ぶりだとか。養殖マグロの一大生産海域である地中海の昨年度生産量はピークの 40% まで落ちましたが、今年は 50% 台に回復することで全体の生産量を押し上げています。出荷サイズは 120kg 以上の大型で、歩留り、身質もしっかりしています。ちなみに日本の生産量は稚魚の漁獲低迷が影響して前年の 10% ダウンですが、日本はもはや世界のマグロ生産地となっています。過去(2009年)に 38,000 トン近くあった生産量を考えれば依然として低い生産水準。養殖マグロ生産の安定化は簡単ではないようです。



入荷状況 & 商品情報

底引き網漁ものは水温が低くなるのに伴い良くなってきます。

特に**甘エビ**、**ガスエビ**は良くなってくるでしょう。通常、9月に多く漁獲される魚種、**秋鮭**、**サンマ**などは水温が高かった影響で漁期がずれているようです。**イクラ**は国内在庫がほとんどない状況で新物の生産を待つ状態。価格も強含みです。サンマもようやく数量的にまとまってきたようですが大型のものはまだまだ少ない状態です。冷凍ズワイガニはそれぞれの産地(ロシア、アラスカ、カナダ)からの輸入量が昨年を大きく上回っており手頃な価格になりそうです。

主な地魚

甘エビ
シマエビ
ガスエビ
赤カレイ
ササカレイ
ハチメ
メギス
ミズウオ
ハタハタ



冷凍 天然車海老

中国産 背ワタ取り
 L(28尾±2) 2L(18尾±2) 31/40 と各サイズ有ります。大変鮮度が良く生食も可能。



ズワイガニ セクション

カナダ産
 サイズは数量が少なく、L、2Lの大きめのサイズは比較的潤沢、価格的に値頃感があります。

商品価格は各担当者にお問い合わせ下さい。